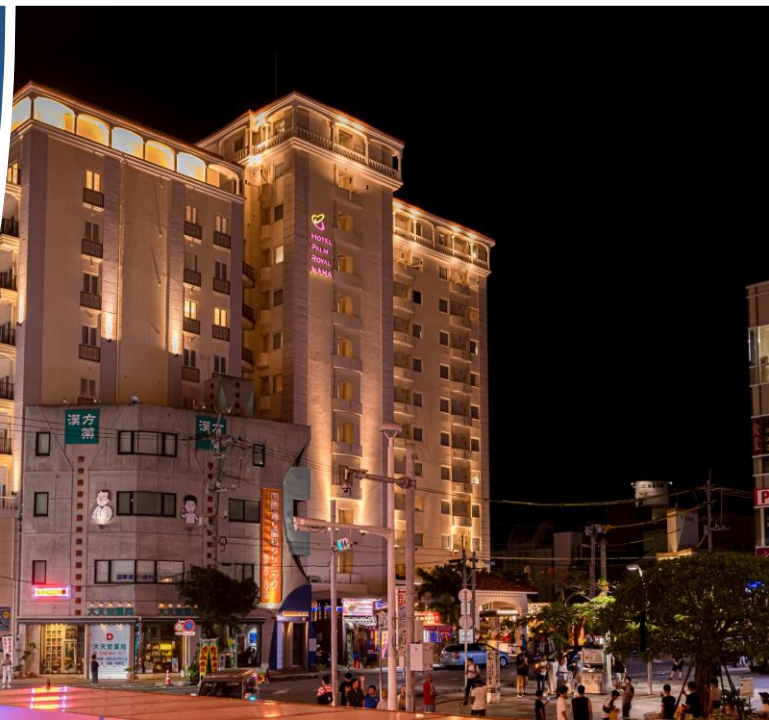


【移動等円滑化評価会議沖縄分科会】

株式会社パームロイヤル
代表取締役総支配人
高倉直久

～全ての人に優しいダイバーシ
ティーアイランドOKINAWAを目指し
たホテルをめざして～



会社概要

株式会社パームロイヤル

代表者 高倉幸一 高倉直久

【事業内容】

ホテル事業:ホテルパームロイヤルNAHA国際通り
170室

太陽光発電所事業:メガソーラー発電所 1650KW

駐車場事業:駐車場の管理運営



社名・役職

株式会社パームロイヤル

代表取締役総支配人施設名:ホテルパームロイヤルNAHA

高倉直久(たかくらなおひさ)昭和54年11月25日 40歳

★経歴または会社概要★

沖縄県立首里高等学校卒業、亜細亜大学卒業 UCLA extension

★社外公務団体★ 2019年度

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー バリアフリーワーキング(LGBT対応含む)委員会 委員長

(一社)沖縄県ホテル協会 観光人材育成委員会 委員長 兼 理事

(一社)沖縄観光の未来を考える会 副会長

沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合 理事

(一社)ピンクドット沖縄 理事長

(一社)外国人・日系人サポートセンター 理事

在那覇クロアチア名誉領事館 事務局長

(一社)アレルギー対応サポートデスク 理事

(一社)宿泊施設関連協会 沖縄支部 副支部長

国際通り通り会連合会 ホテル部会 副部会長





バリアフリー化推進に力を入れるようになったきっかけ

- 2013年にゲイを公表している知人より紹介を受け、LGBTのイベントが向かいの広場にてLGBTの啓発活動に協賛したことがきっかけで心のバリアフリーを推進していくことになった。

2014年

- ホテル旅館として全国初であるLGBTフレンドリー宣言をおこない館内外にレインボーフラッグを設置。来館するお客様へ周知活動を開始



バリアフリー化推進に関わる施策

① 九州・沖縄初のジェンダーフリートイレの設置

2016年 九州・沖縄地区初のLGBTの方々に配慮したジェンダーフリートイレを設置
元々ハンディキャップ専用のトイレをLGBTの方にも使用しやすいように改修。

ピクトグラムにも男性・女性で分けられない抽象的なデザインを当事者であるデザイナーに依頼をし抽象的なピクトグラムを設置した。



多目的トイレ LGBT配慮

那覇市のホテルパームロイヤルNaha A（高倉直久総支配人）がこのほど、1階の多目的トイレを改修し、レスピアン、ゲイ、バイセクシユアル、トランスジェンダーなどの性的少数者（LGBT）でも使いやすいようにした。写真。ドアには、男性用か女性用かを示す絵文字（ピクトグラム）の代わりに、緑色を基調にした抽象的なデザインを採用。県内ホテルや観光施設で初の取り組み。

ホテルパームロイヤルが改修

体の性とは違う性で生きるトランスジェンダーの人々は男女共用のトイレを探すのに苦労しており、トイレを長時間我慢してぼつこう炎になるケースもあるという。一方で、「ジェンダーフリー」と書かれたトイレに入るのも周りの目が気になるがち。高倉総支配人はこれらの当事者の声を踏まえ、抽象的なピクトグラムにとどめた。さらに、おむつ交換ができるベビーベッドや便器回りの手すりを併設することで「多目的トイレ」と位置付け、利用しやすい工夫した。

ホテルパームロイヤルNahaは、性的少数者も楽しめる観光旅行の普及を目指す「国際ゲイ&レスピアン旅行協会」（IGLTA）に加盟するLGBTフレンドリーのホテル。フレンドリーホテルは全国に計42施設あるが、LGBTに配慮した多目的トイレは例がないという。高倉総支配人は「いろいろな方をお迎えする配慮がもっと広がるとうれしい」と話している。



バリアフリー化推進に関わる施策②-1

同性パートナーハネムーンプランの実施

ハネムーンでご来館されるお客様にお部屋のアップグレードをホテル側からのサプライズプレゼントでサービスを展開していたが、同性パートナーにも適用したハネムーンサービスを拡充した。

那覇市が2016年7月より同性パートナーシップ登録制度を開始し、市の施策を後押しする心のバリアフリーに貢献した。



バリアフリー化推進に関わる施策②-2

沖縄最大のLGBT啓蒙イベント

一般社団法人ピンクドット沖縄主催による
メインイベントに合わせて同性パートナー登録
制度第1号のカップルにパームロイヤル
のプレジデンシャルスイートを提供

今後、同性パートナーの方々が快適に滞在
できるようハネムーンプランとして宿泊を受
入れを継続的に行い当事者における心のバ
リアフリーに貢献した。



バリアフリー化推進に関わる施策③

定期的なLGBTQマナー研修の実施

定期的にLGBTQマナー講習を実施し、外部講師の招聘や弊社代表である高倉がマナー講師を担当している。

働く職員にも当事者がいる為、職場内でのバリアを取り除くこともふまえ継続的に研修を実施している。

新規採用者に当事者がいる場合は事前にヒアリングを行い総支配人が相談窓口となり働きやすい職場環境に努めている。

結果として、当事者、非当事者関わらず快適に過ごしていただけるとのお褒めの言葉や励ましの言葉を頂戴しており職員のモチベーション向上にもつながっている。



バリアフリー化推進に関わる施策④ー1

日本初のLGBTアライチャーターフライト の提案実施

JAL本社の人財本部担当者にピンクドット沖縄のイベントに合わせたLGBTアライチャーターフライトの提案。

色々なハードルを乗り越えて日本初のLGBT支援チャーターを実現。LGBT当事者をはじめ関係者、イベント参加者多数ご宿泊頂き、LGBT啓蒙活動及び施設の心のバリアフリー対応に触れて頂き快適な滞在を提供した。



バリアフリー化推進に 関わる施策④-2

日本初LGBTアライチャーターフライト の提案実施

LGBTアライチャーターフライトの取組みは
全国放送でも流れ心のバリアフリー化を
目指す当ホテルをはじめ沖縄県にとても反響
の大きな企画であった。

企画発案・実施に関わらせて頂き、ホテル
として今後も様々なバリアを取り除く企画を
実地していきたいと考えている。



バリアフリー化推進に関わる施策⑤

全国初！！夜間営業中における障がい者、外国人を中心とした夜間消防訓練を実施

逃げるバリアフリーとして、那覇消防・バリアフリーネットワーク会議と共催で実施。ホテル従業員や関係者を含め約130名の人に参加した。

※夜間では日中と比べ人員が少なく万一の火災時に迅速な対応を要求されることから、障がいをお持ちの方や言葉の通じない外国人、怪我をした方などの避難誘導にどれだけの時間がかかるのかの実証実験も兼ねて実施した。

この夜間での取り組みは世界でも事例がないとのこと。



障がい者ら対象 夜間の避難訓練

那覇のホテル

外国人観光客や視覚、聴覚などに障がいがある人を含めた夜間の避難訓練「逃げるバリアフリー」が27日、那覇市のホテルパームロイヤルNAHAであった。ホテル従業員や消防など130人が参加したII写真。NPO法人バリアフリーネットワーク会議が企画した訓練で、外国人や障がい者を対象とする夜間の避難訓練は県内初という。

同会議の小濱哲会長は「来県する観光客が伸びているし、外国人や障がい者も増えている。受け入れるホテル側として、非常時に



他の客室にもノックして「大丈夫ですか。火災発生です。避難します」と声掛け。外国人客には事前に用意した英、中、韓国語のポードで火事を知らせた。

高倉直久総支配人は「実践的な訓練を通して非常時にしっかり対応できるように取り組みを準備したい」と話した。

◆ペースメーカー不具合で回





バリアフリー化推進に関わる施策⑥

フロントやクリーンスタッフへのバリアフリー及び 防災研修



日中一番客室の身近にいるクリーンスタッフへバリアフリー及び
防災研修を実施。

万一の火災やその他災害が起こった場合の避難誘導を迅速に行
うため、障がいをお持ちの方が宿泊されている場合にその情報を
共有し、災害の際逃げ遅れがないよう施設管理課長や総支配人
のレクチャーを実施している。



バリアフリー化推進に関わる施策⑦

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
バリアフリーワーキング委員会委員長として県に対し提言書
を提出

2018年、2019年 約200団体の会員数である(一財)沖縄観光コンベンションビューローよりバリアフリーワーキング委員会委員長にパームロイヤルが委嘱され総支配人が当委員会の委員長に就任。

多様化するバリアフリー対応としてバリアフリー設備の拡充、食物アレルギー対応施設の拡充、LGBTQへの支援・啓蒙、ハラール食対応(礼拝所等の設備含む)

※県はH19に全国に先駆け観光バリアフリー宣言を行った。誰もが楽しめる優しい観光地を推進

多様性を尊重するダイバーシティアイランドとしての提言をまとめ県知事に観光提言書として提出し、多様化するバリアフリー化推進に向けて尽力した。



バリアフリー化推進に関わる施策⑦-2

旅の大きなバリアである食物アレルギー対応に向けての取り組み

パームロイヤルは一般社団法人アレルギー対応沖縄サポートデスクのメンバーであり、総支配人が理事を務めている。

同じく沖縄県ホテル協会の理事の立場で旅の食事に対してのバリアを取り除くべく、サポートデスクに対しアレルギー対応研修事業の一部をホテル協会です算化(事業として研修委託)し沖縄県内の施設にアレルギー対応食並びに食物アレルギーに関する啓蒙普及に尽力した。



アレルギー対応食補助 提供ホテル・施設支援

沖縄ツーリスト(OTS)、那覇市・東良和会長)に協力するホテルや観光施設でつくる「沖縄ツーリスト協定機関連盟(通称・OTSパートナーズ)」からアレルギー対応メニューの説明を受けるOTSパートナーズネットワークの久保田徹会長(左から2人目)ら。26日、那覇市のパシフィックホテル沖縄

「2020年までに、沖縄をアジアにおけるアレルギー対応の先進地にする」との目標に向け、同年までに県内の約60施設でアレルギー対応食を提供できるようにする。現在は、多くの施設が客の要望を受けてその都度メニューを工夫している。食材はもろろ調味料の原料まで確認する必要があるため、試行錯誤が続いている。定番メニューとして確立させている施設は10カ所にとどまるとい

OTSパートナーズネットワークは①アレルギーについての基礎知識の講習②そば殻の入った枕を置かないなどの

客室面の指導③アレルギーの原因食材の混入を抑えるための調理場の指導④食事を提供する際の食材表示の徹底⑤アレルギー対応食の開発支援⑥企業などをつくる「アレルギー対応沖縄サポートデスク」を提供する。施設ごとに個性のあるアレルギー対応食が定番化されれば、利用者は事前にメニューを確認し、安心して沖縄観光を楽しめる。旅行社がアレルギー対応ツアーを商品化しやすい利点もあるという。

その他民間・自治体における市民の評価等

・2020年

『内閣府沖縄総合事務局バリアフリー化推進功労者表彰』

『第23回 人に優しい地域の宿作り賞 楽天トラベル賞』

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会主催 厚生労働大臣賞に次ぐ上位の賞受賞 全ての人に優しい配慮がなされた

・2021年

『国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰』

・2016年、17年、18年、20年 『Work With Pride』 ゴールド賞
企業等の枠組みを超えてLGBTが働きやすい職場づくりを目指す5つの指標最高賞授賞 16年度ではホテル旅館初の授賞

・2017年、18年、20年 『Expedia LOVES BY GUEST 世界Top 100』ユーザーが選ぶベストホテルアワードLGBTフレンドリーホテル部門受賞 アジア地区で4施設のみ

・2018年～現在 『トリップアドバイザー那覇のホテル口コミNo1』人に優しいホテルとしての評価を受け世界最大の口コミサイトランキング1位を2年以上維持している。



work with Pride



LGBT部門で表彰

カフーリゾート パームロイヤル 世界トップ100

世界最大級のオンライン旅行会社「エクスベディア」(米国)が運営するホテル予約サイト「ホテルズ・ドットコム」の「ユーザーが選ぶベストホテルアワード2017」の表彰式が6月29日、那覇市内であった。LGBT(性的少数

者)部門で、恩納村のカフーリゾートフチャクコンド・ホテル(田中正男社長)と那覇市のホテルパームロイヤルNaha(高倉直久総支配人)が世界トップ100に県内から初めて選ばれた。同部門へのランキングは、アジア太平



洋地域で4施設のみ。田中社長は「全国的に先駆けて受賞できた。LGBTを



4.5 とても良い
638件の口コミ

- 1位：那覇市のホテル129件中
- 価格
- 立地
- 清潔感
- サービス

Certificate of Excellence (エクセレンス認証)

国際通りの真ん中、駅近のベストロケーションです。2019夏に国際通り初屋外ウォールスループール&バーオープン！2018年10月にオープンしたばかりの大浴場や…



社会変革企業としての ダイバーシティアイランドOKINAWA構想

パームロイヤルの指針

老若男女、LGBTQ、身体障害者、食物アレルギー等、全ての人に対応できる優しい島を目指します。
 全ての人自分らしく生きやすい社会づくりを目指します。
 今後も全ての人に優しいバリアフリー化を推進して参ります。

日本
 「沖縄でLGBTの啓発イベントをするけど協賛してくれないか。2013年、ホテル「パームロイヤルNaha」(那覇市)の高倉直久総支配人は知人から声をかけられた。会場はホテルの向かいで、国際通りに面した露天広場。当時はLGBTの詳しい知識を持っていなかったが、この誘いが普及活動に繋がる

「に優しい島へ



ホテル「パームロイヤルNaha」
 高倉 直久 総支配人
 たかひら・なほひら 1979年那覇市生まれ、那覇市立第一中学校卒業。1997年那覇市立第一中学校卒業。1998年那覇市立第一中学校卒業。1999年那覇市立第一中学校卒業。2000年那覇市立第一中学校卒業。2001年那覇市立第一中学校卒業。2002年那覇市立第一中学校卒業。2003年那覇市立第一中学校卒業。2004年那覇市立第一中学校卒業。2005年那覇市立第一中学校卒業。2006年那覇市立第一中学校卒業。2007年那覇市立第一中学校卒業。2008年那覇市立第一中学校卒業。2009年那覇市立第一中学校卒業。2010年那覇市立第一中学校卒業。2011年那覇市立第一中学校卒業。2012年那覇市立第一中学校卒業。2013年那覇市立第一中学校卒業。2014年那覇市立第一中学校卒業。2015年那覇市立第一中学校卒業。2016年那覇市立第一中学校卒業。2017年那覇市立第一中学校卒業。2018年那覇市立第一中学校卒業。2019年那覇市立第一中学校卒業。2020年那覇市立第一中学校卒業。2021年那覇市立第一中学校卒業。2022年那覇市立第一中学校卒業。2023年那覇市立第一中学校卒業。2024年那覇市立第一中学校卒業。2025年那覇市立第一中学校卒業。

ピンクドット活動拡充へ
 社団法人化 当事者と連携深める

「一般社団法人化を報告するピンクドット沖縄の(左から)南定 四郎 代表理事、高倉直久 代表理事、田中正男 副代表理事—24日、県庁記者クラブ

■ 沖縄でLGBT啓発活動

を設立した。高倉直久代表理事らが24日、県庁記者クラブで会見し「無知が故に当事者が暮らしづらい現状はまだある。行動を示し、全ての人が自分らしく生きやすい社会にしたい」と抱負を語った。

一般社団法人「ピンクドット沖縄」として3月24日付で承認を受けた。これまでイベントなどに実行委員会を組織して活動していたが、新たに、①結婚の教育・仕事②公的サービス・社会障③観光・経済④の四つの分野で活動計画を掲げ、年間を通じた活動の拡充を図る。LGBTの当事者団体との情報共有などを進めたい考えだ。

同団体は、2013年から

パームロイヤル 1000万円託

首里城再建に向け「パームロイヤル」の高倉 支配取締役社長と高倉 支配人は14日、那覇に城間幹子市長を訪問し、次年度も1千万円を託し、復元の取り組みを「いきたい」と感謝し

城間幹子市長(右から)に寄付を贈ったパームロイヤルの高倉 代表取締役社長(左)と高倉 支配人(左から)3人目。高倉直久 4人目。14日、那覇市







ご清聴頂きありがとうございました。引き続きすべての人に優しいダイバーシティアイランド沖縄実現に向けて尽力したいと思います